

令和4年度指定管理者評価調査書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 小野寺 正行	評価日	令和5年6月20日
-------	---------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	奥州市埋蔵文化財調査センター	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	埋蔵文化財を調査研究し、その資料の保管及び公開を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	研修室、展示室、研究室、収蔵庫、資料保管室、整理室等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市埋蔵文化財調査センター観覧者等	4,915	1,834	1,758	3,538	201.3	
(計)	4,915	1,834	1,758	3,538	201.3		
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館の期間が令和2年度の24日間に對し、3年度は通算67日間と長期であったことが影響し利用者減となった。令和4年度はコロナ感染拡大の緩和により臨時休館がなかったこともあり来館者数が増えた。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R4年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R4年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	35,789,000		35,789,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	464,400		464,400		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		471,860	471,860		その他		その他		
	雑収入	196,412	516,481	712,893		計(A)	0	計(A)	0	
	計	36,449,812	988,341	37,438,153						
	支出	人件費	24,663,505		24,663,505	※経常的 歳出	指定管理料	35,789,000	人件費	8,689,602
		需用費	4,141,207	445,293	4,586,500		委託料		委託料	10,389,000
		役務費	288,894	58,807	347,701		需用費		需用費	25,070,466
		委託料	4,564,060		4,564,060		その他		その他	
		使用料・賃借料	1,261,430	114,010	1,375,440		計(B)	35,789,000	計(B)	44,149,068
租税公課		2,344,000	2,000	2,346,000	※臨時的 歳出	支出(B-A)	35,789,000	支出(B-A)	44,149,068	
その他諸費		25,000	228,778	253,778		維持修繕費	2,464,550	維持修繕費	1,791,300	
						備品購入費		備品購入費		
						計(C)	2,464,550	計(C)	1,791,300	
計		37,288,096	848,888	38,136,984		支出(B+C-A)	38,253,550	支出(B+C-A)	45,940,368	
損益	△ 838,284	139,453	△ 698,831							

職員配置	常勤職員	6人	市の正職員	1人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	481,650	17,250	464,400

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	66.1%	R4年度指定管理者損益	△ 698,831円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	10,115.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	2
----------------	------------	-----------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	8,360,068円			評価
	公の施設分については、損益額が昨年度に比較し大幅に減額となった。自主事業については、コロナ感染拡大の緩和や特別展の実施により来館者数が増え収入が増加し、利用料金分は増益となっている。	[行革効果額の積算根拠]				3
			R4	R3	比較	
		直営支出額	44,149,068	44,149,068	0	
		市支支出額	35,789,000	35,221,000	568,000	
効果額	8,360,068	8,928,068	△ 568,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 管理施設等の使用許可に関する業務 管理施設等の維持管理に関する業務 来場者への案内説明 	○		4
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 鎮守府探訪講座2022（3回実施）・体験学習会（4回） 特別展「鎮守府胆沢城と辺境」 記念講演会「発掘された文字が語る鎮守府胆沢城」 長編アニメーション映画「アテルイ」上映会 令和4年度奥州市遺跡発掘調査報告会 出前講座（随時15回）・体験学習会（随時3回） 博物館実習（1名） 	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	必要な修繕を行い、適切に維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	賠償保険に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	必要な事務処理が行われ、適正に公平性が図られていた。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報の定期発行等による広報活動の実施を確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用者の要望を十分に汲み取り、円滑な運営がなされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	可能な限り改善していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を行っていた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の保護に関する規程に基づき、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	事業報告書により点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	事業報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	地震・火災等緊急時対応マニュアルに当該対応における内容の記載を確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	地震・火災等緊急時対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	事業報告書により訓練の実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の感想調査 ・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった) 	
		調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度事業への取り組みに反映させている。 ・利用者からの感想を的確に捉え、サービス向上につなげている。 	
	要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にわかりやすい展示解説やニーズに沿った展示が行われている。 ・職員や学芸員が案内や質問に対応してくれるためありがたい。 		
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり知られていないので、もっと広報したほうが良い。 ・2階常設展の解説が壁際に貼ってあるので、小さくて読みにくい。 ・2階展示室の映像が30分という比較的長時間であることから、事前の周知か表示が欲しい。映像が古い。 	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	5	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	4	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	4	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として、善良且つ適切な施設管理を行うとともに、親切丁寧な対応が来場者から好評を得ている。 ・自主事業を積極的に行い、市の歴史文化に対する知識の習得と情報発信に寄与している。 ・胆沢城跡を起点とした、地域の中心施設として住民の期待に応えるよう事業に取り組んでいる。 ・新型コロナウイルス感染症の緩和により、前年度と比較し来場者数の増加が認められた。 ・来場者の求める展示やイベントを実施する等、誘客と施設の更なる知名度アップに向けた改善策が求められる。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者のニーズ(アテルイ・エミシ)に沿った展示を企画し、誘客に努める。	胆沢城・エミシについての特別展を自主事業として開催し、誘客につなげた。	利用者のニーズ(アテルイ・エミシ)に沿った企画展を開催し、誘客に努める。

令和4年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 小野寺正行	評価日	令和5年6月20日
-------	---------------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	胆沢城跡歴史公園	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	奥州市の歴史遺産としての遺跡等を保存し、市民の文化活動の場 に供することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	築地(再現)、外郭南門跡や柱跡を設置。AR・VRによる復元映像。	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	タブレット利用人数		457	153	66	230	
ヘッドマウントディスプレイ利用人数		176	318	86	194	225.6	
現地案内状況		727	234	124	410	330.6	
(計)		1,360	705	276	834	302.2	
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が緩和し、来場者が大幅に増加したため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R4年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R4年度決算額		市直営決算(R1年度)			
収入	指定管理料	6,913,000		6,913,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	6,913,000	0	6,913,000		計(A)	0	計(A)	0	
支出	人件費	5,400,470		5,400,470	歳出 ※経常的	指定管理料	6,913,000	人件費		
	需用費	76,059		76,059		委託料	3,113,000	委託料	12,014,821	
	役務費			0		需用費	55,848	需用費	20,402	
	委託料			0		その他	293,040	その他	218,448	
	使用料・賃借料	169,590		169,590		計(B)	10,374,888	計(B)	12,253,671	
	租税公課	514,274		514,274		支出(B-A)	10,374,888	支出(B-A)	12,253,671	
	その他諸費			0		歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	33,000
							備品購入費		備品購入費	
	計	6,160,393	0	6,160,393			計(C)	0	計(C)	33,000
	損益	752,607	0	752,607		支出(B+C-A)	10,374,888	支出(B+C-A)	12,286,671	

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	
			0	

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	87.7%	R4年度指定管理者損益	752,607円	評価
-----------	------------------------	-------	-------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 /利用者数	8,289.0円	事業目的に適合しない支出等の有無		3
----------------	----------------	----------	------------------	--	---

行革効果	[指定管理による行革効果]		[行革効果額]		1,878,783円	評価
	令和2年度より指定管理施設となり3年目である。前年度に引き続き非常勤職員の雇用月数を減じたことにより人件費などの支出額が抑えられた。また、来場者の増により前年度に比較し、利用者数に対する指定管理料は減額となったが、AR胆沢城の改修等により行革効果額は前年度に比較し下回った。		[行革効果額の積算根拠]			2
		R4	R2	比較		
	直営支出額	12,253,671	12,253,671		0	
	市支支出額	10,374,888	9,108,863		1,266,025	
効果額	1,878,783	3,144,808		△1,266,025		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・管理施設等の使用許可に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・来園者への案内説明	○		3
自主事業	・親子で楽しむ 平安の遊び体験 ・歴史公園ウォッチング&木の実のリースをつくろう	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切な維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	Wi-Fi接続状況の確認が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に清掃が行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	※来園者の事故については、市の損害保険で適用。自主事業による事故の場合は、財団が加入するレクリエーション保険を適用。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者等に委託し、適切に維持管理されていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	必要な事務処理が行われ、適正に公平性が図られていた。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報の定期発行等による広報活動の実施を確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用者の要望を十分に汲み取り、円滑な運営がなされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	可能な限り改善していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	9月と10月の2回体験学習会を実施した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の保護に関する規程に基づき、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施		消防設備は設置していない。築地は普段人が入る部分ではないため。	
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	事業報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	地震・火災等緊急時対応マニュアルに記載されており、関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	地震・火災等緊急時対応マニュアルを確認した（埋蔵文化財調査センターと同一）。	○	
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	事業報告書により訓練の実施を確認した（埋蔵文化財調査センターと同時実施）。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	埋蔵文化財調査センターと同様 ・事業内容の感想調査 ・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった)	
		調査結果	利用者からの感想を的確に捉え、サービスの向上につなげている。	
	要望・苦情等	良好とする評価 適切な芝生管理・除草作業により快適な環境が維持されている		
		苦情・改善要望等	苦情・改善要望なし	3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	5	3
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として、善良且つ適切な施設管理を行うとともに、親切丁寧な対応が来園者から好評である。 ・胆沢城跡を起点とした、地域の中心施設として住民の期待に応えるよう事業に取り組んでいる。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が緩和したことから、前年度より来園者数が増加した。 今後も施設の利用促進を積極的に働きかけるとともに、魅力ある自主事業の実施が求められる。	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	引き続き、適正な芝生・植栽管理を実施する。	適正な芝生・植栽管理が実施された。	適正な芝生・植栽管理を実施するとともに、事業実施により更なる誘客に努める。

令和4年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 小野寺 正行	評価日	令和5年6月20日
-------	---------------	--------	-----------	-----	-----------

施設名称	衣川歴史ふれあい館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	一般社団法人 奥州市観光物産協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日（1年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚及び文化振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	展示室・資料室・研修室・収蔵庫等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	R4利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	衣川歴史ふれあい館施設利用者数	3,398	1,043	849	1,239	145.9	
(計)	3,398	1,043	849	1,239	145.9		
〔利用者の増減理由〕 館外イベント（出前歴史講座）開催の増加に伴い利用者が増えたことによる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R4年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R4年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	3,900,000		3,900,000	歳入	使用料		使用料	172,050	
	利用料金	125,250		125,250		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		180,000	180,000		その他		その他		
	雑収入	318,697		318,697		計(A)	0	計(A)	172,050	
	計	4,343,947	180,000	4,523,947						
	支出	人件費	2,400,000		2,400,000	歳出 ※経常的	指定管理料	3,900,000	人件費	2,370,672
		需用費	902,755		902,755		委託料		委託料	475,443
		役務費	208,251		208,251		需用費		需用費	774,375
		委託料	230,800		230,800		その他	200,000	その他	441,466
		使用料・賃借料	11,220		11,220		計(B)	4,100,000	計(B)	4,061,956
租税公課		375,687		375,687	支出(B-A)	4,100,000	支出(B-A)	3,889,906		
その他諸費			236,255	236,255	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	84,000	
						備品購入費		備品購入費	48,300	
計		4,128,713	236,255	4,364,968		計(C)	0	計(C)	132,300	
損益		215,234	△ 56,255	158,979	支出(B+C-A)	4,100,000	支出(B+C-A)	4,022,206		

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	(兼)1人
	非常勤職員	1人	市の臨時・非常勤職員	3人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	126,650	1,400	125,250

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	58.1%	R4年度指定管理者損益	158,979円	評価
-----------	--------------------	-------	-------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	3,147.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕			評価
			△ 210,094円			
	・直営当時（H21年度）は正職員（兼務）1名と非常勤職員3名を配置していたが、本制度の導入により兼務職員をなくすことができた。 ・公共料金の値上げにより導入以前に比して効果が減じたと考えられる。 ・看板を撤去したことにより土地借上料を減額できた。		〔行革効果額の積算根拠〕			3
		R4	R3	比較		
	直営支出額	3,889,906	3,889,906		0	
市支出額	4,100,000	4,100,000		0		
効果額	△ 210,094	△ 210,094		0		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	衣川歴史ふれあい館の維持管理	○		3
自主事業	衣川清凜会との連携により、歴史講談を開設した。 ヨガ教室や漆塗りなどの体験講座を開設した。	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検を実施	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員により適切に行われていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	自主事業の実施には、保険をかけていない旨の報告があった。	自主事業の内容に適合する保険が見当たらないとのこと。		△
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	職員により適切に行われていることを確認した。			○
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正であったと認められる。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	観光物産協会の情報紙への掲載やダイレクトメールにより、事業の周知を図った。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	正確で確実な対応	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	可能な範囲で、迅速かつ誠実な対応に努めていることを確認した。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に実施されていた。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき、適切に対応していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	年2回の設備点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故発生時の対応マニュアルを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	災害発生時の対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練と講習会の実施を確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	来館者の接客時に聞き取り、日報に記載。 ・どこから来訪したのか。 ・来訪の目的 ・安倍氏の歴史に興味はあるか。 ・何で当館を知ったのか。	
		調査結果	・県南地域からの来館者が多いが、関東圏や大阪、愛知など関東以西からの来館者があった。 ・講談目的の来館者があった。	
	要望・苦情等	良好とする評価 ・希望者には館内のガイドを行っている。 ・家系図の説明をすると、興味深そうにしている。		
		苦情・改善要望等	・冬期間の館内が寒い。 ・ふれあい館のパンフレットはないのか。 ・安倍氏ゆかりの史跡を訪れたい。 ・歴史講談が聞きたい。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され、一定の行革効果があった。 ・施設の特性を活かした自主事業（歴史講談、漆塗り体験講座等）を積極的に行い、歴史等に係る知識習得に有効であった。 ・指定管理者として、善良な施設管理を行い、来館者に対しても親切で丁寧な対応を行った。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	コロナウイルスの感染対策を行い体験講座や出前講座を実施した。	講座開催の回数や参加者が、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあり、利用料金や自主事業収入の収益が昨年度より向上した。	次年度も引き続き感染対策を徹底した上で体験講座等の開催に努めていただき、コロナ前の収益状態に戻せるよう施設運営にあたってほしい。